



平成17年2月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成16年6月18日

上場会社名 **株式会社オークワ**

コード番号 8217

(URL <http://www.okuwa.net>)

上場取引所 東証・大証第一部

本社所在都道府県 和歌山県

代表者 代表取締役社長 大桑 啓嗣

問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 横山 勝彦

TEL : (073) 425 - 2481

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

営業収益の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成17年2月期第1四半期業績の概況（平成16年2月21日～平成16年5月20日）

(1) 営業収益

(単位：百万円未満切捨)

	百万円	%
17年2月期第1四半期	55,379	2.0
16年2月期第1四半期	54,307	-
(参考) 16年2月期	229,702	

(注) 1. パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 四半期業績の開示については、当第1四半期より実施しております。なお、平成16年2月期第1四半期は当第1四半期と同様の方法により算出した数値を参考として記載しております。

[営業収益に関する補足説明]

当第1四半期におけるわが国経済は、雇用や所得の先行きは依然不透明であります。設備投資や輸出の増加に支えられ、企業業績の改善に広がりが見られました。しかしながら、スーパー業界におきましては、鳥インフルエンザの影響に加え、4月からの消費税の総額表示による割高感から総じて低調な販売状況で推移いたしました。

このような状況のなかで、当社グループの中核企業(株)オークワにおきましては、当第1四半期は、新設店舗はなく24時間営業化店舗を3店増やしたほか、小型店の業態転換店舗として「プライスカット」店を開発し、順調なスタートを切ることが出来ました。

この結果、(株)オークワの既存店売上高は前年同期比98.8%、営業収益は前年同期比102.1%の529億34百万円となりました。

連結子会社の(株)オー・エンターテイメント及び(株)オークフーズにおきましても、期中の新設店舗はなく、改装を中心に既存店の活性化に注力した結果、両社とも計画どおり進捗いたしました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期の連結営業収益は553億79百万円(前年同期比2.0%増)と概ね計画どおりに進捗いたしております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3. 平成17年2月期の連結業績予想（平成16年2月21日～平成17年2月20日）

業績は概ね計画どおりに推移しておりますので、平成17年2月期の業績予想につきましては、平成16年4月6日に発表いたしました中間期及び通期の業績予想の変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

【参 考】

営業収益の状況

(単位：百万円)

			17年2月期 第1四半期	16年2月期 第1四半期	増 減	
					金 額	率(%)
売 上 高	小 売 事 業	スーパーマーケット事業	50,637	49,652	985	2.0
		(内訳) 食 料 品	35,762	34,555	1,206	3.5
		衣 料 品	3,138	3,190	51	1.6
		住居関連用品	7,226	7,426	199	2.7
		テナント	3,948	3,999	50	1.3
		そ の 他	561	481	79	16.6
	その他の小売事業	1,658	1,612	46	2.9	
	小 計	52,296	51,264	1,032	2.0	
	そ の 他 の 事 業	692	854	161	18.9	
	計	52,988	52,118	870	1.7	
営 業 収 入	その 他の 営 業 収 入	不 動 産 賃 貸 収 入	569	534	35	6.6
		配 送 受 託 手 数 料	890	705	185	26.3
		レ ン タ ル 収 入	518	495	22	4.6
		ジ ス ト 事 業 部 収 入	348	353	4	1.3
		そ の 他	64	100	36	36.1
	小 計	1,821	1,654	167	10.1	
	計	2,391	2,189	202	9.2	
合 計			55,379	54,307	1,072	2.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 売上高の「小売事業」の「その他の小売事業」については、主に書籍等の売上高を記載しております。
 3. 売上高の「その他の事業」については、主に外食事業の売上高を記載しております。
 4. 営業収入の「その他の営業収入」の「ジスト事業部収入」は、映画興行収入、スポーツクラブ収入及びボウリング場等施設利用料収入であります。